

教科名	国語	週時間数	4	学年	2
使用教科書 副教材等	・教科書 現代の国語2（三省堂） 中学書写1.2.3年（光村図書） ・副教材 すらすら基本文法（浜島書店） 新・国語の便覧（正進社） くりかえし漢字2（秀学社） 国語スイッチ2（正進社） 積み上げ国語2年（明治図書）				

指導の重点	「知識・技能」 「思考・判断・表現」 「主体的に学びに向かう態度」		
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に取り組み、国語に対する興味関心を高める。</li> <li>・自分の見方や考え方を深め、表現の仕方に注意して話すこと聞くこと書くことができるようにする。</li> <li>・様々な文章を読み、目的や意図に応じて読み取る能力を育てる。</li> <li>・国語の基礎的な事項や知識を身につけさせる。</li> </ul>		
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を中心にして進める。必要に応じてプリント、資料、辞書などを活用する。</li> <li>・音読・表現活動など一人一人の活動を取り入れる工夫を行い、興味・関心を高める。</li> <li>・漢字の小テストや聞き取りテストなど確認テストを適宜行い、知識や聞く力などを身につけさせる。</li> </ul>		
定期考査	出題方針	授業内容を中心に問題を出題する。（読解問題・言語・作文問題など）	
	範囲 (予定)	1学期中間	詩 小説 説明文 漢字
		1学期期末	短歌 報告 漢字 文法
		2学期中間	評論 古典 漢字 文法
		2学期期末	漢文 詩 小説 文法 漢字
学年末	評論 小説 文法 漢字		
学習方法 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に集中して取り組み、課題は自分で考える努力をしよう。</li> <li>・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の意見や考えは挙手してはっきりと述べよう。</li> <li>・提出物の期限を守ろう。</li> <li>・見やすく、使いやすい自分のノートを作ろう。</li> <li>・家庭学習の時間を確保しよう。</li> <li>・読書をしよう。新聞を読もう。</li> </ul>		

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評  価	①知識・技能	<u>言葉の特徴や使い方に関する事項</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴について理解し、言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。</li> <li>・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むとともに、文や文章の中で使うことができる。</li> <li>・話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</li> <li>・文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。</li> <li>・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。</li> </ul> <u>情報の扱い方に関する事項</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。</li> <li>・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し、使うことができる。</li> </ul> <u>我が国の言語文化に関する事項</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。</li> <li>・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。</li> <li>・本や文章から、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動観察</li> </ul>
	②思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動観察</li> </ul>
	③主体的に学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の内容の必要性や意味について考えようとしている。</li> <li>・各単元の内容について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・各単元の内容を活用した問題解決の過程を振り返り評価、改善しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの記述内容</li> <li>・ワーク等の提出内容</li> <li>・振り返りシートの内容</li> <li>・行動観察</li> </ul>

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	曜日	学習のポイント
1	4	豊かに想像する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「名づけられた葉」</li> <li>・「セミロングホームルーム」</li> <li>・言葉発見①</li> <li>・グループディスカッション</li> <li>・漢字を身につけよう1</li> </ul>	2	・リズムを感じ取りながら繰り返し音読する。
				4	・会話や行動から登場人物の心情の変化を読み取る。
	5	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉発見①</li> <li>・グループディスカッション</li> <li>・漢字を身につけよう1</li> </ul>	1	・敬語の意味と種類について理解し、活用する。
				4	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。
	6	わかりやすく伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか</li> <li>・「人間は他の星に住むことができるのか」</li> <li>・手紙・メール</li> <li>心をこめてわかりやすく書く</li> </ul>	1	・文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。
				4	・主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。
	7	ものの見方・感性を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉発見②</li> <li>・漢字を身につけよう2</li> <li>・短歌の世界/短歌十首</li> <li>・短歌・俳句</li> <li>・文法の窓1</li> <li>・「壁に残された伝言」</li> <li>・私の読書体験</li> <li>・漢字を身につけよう</li> <li>・毛筆・硬筆</li> </ul>	4	・文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。
4				・相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。	
2	9	論理的に考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「100年後の水を守る」</li> <li>・言葉発見③</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>	4	・文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。
				1	・上位語・下位語の関係について理解を深める。
	10	古典に学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を身につけよう4</li> <li>・枕草子・徒然草</li> <li>・平家物語</li> <li>・漢詩の世界</li> <li>・漢字のしくみ1</li> </ul>	5	・社会生活の中から題材を探し、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。
				1	・常用漢字の読み・書きについて理解を深める。
	11	情報を関係づける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を身につけよう5</li> <li>・複数の情報を関連づけて考えをまとめる</li> <li>・投稿文</li> <li>・文法の窓2</li> <li>・漢字を身につけよう</li> </ul>	6	・古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。
				5	・語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。
	12	読みを深め合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阿蘇</li> <li>・言葉発見④</li> <li>・小さな手袋</li> <li>・読書活動（ビブリオバトル）</li> <li>・創作文</li> </ul>	3	・漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。
5				・漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。	
3	1	視野を広げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を身につけよう</li> <li>・毛筆・硬筆</li> </ul>	1	・熟語の構成・熟字訓について理解を深める。
				5	・常用漢字の読み・書きについて理解を深める。
	2	振り返って見つける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物園でできること</li> <li>・漢字のしくみ2</li> <li>・論説文</li> </ul>	5	・意見と根拠などの関係に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。
				4	・多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。
	3	振り返って見つける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を身につけよう</li> <li>・「走れメロス」</li> <li>・漢字を身につけよう</li> <li>・情報誌</li> </ul>	3	・助詞・助動詞のはたらきや文の構成について理解する。
				1	・常用漢字の読み・書きについて理解を深める。
	3	振り返って見つける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆・硬筆</li> </ul>	2	・文章の字形の整え方に気をつけて書く。
2				・文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主	

教科名	社会	週時間数	3	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	教科書 地理的分野「中学生の地理」(帝国書院) 歴史的分野「新しい社会 歴史」(東京書籍) 副教材 社会の自主学习地理(新学社) 社会の自主学习歴史(新学社)				

指導の重点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学ぶに向かう態度」	
学習のねらい	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。	
授業の進め方	授業は教科書の内容を中心に、授業プリント等も使ってすすめていきます。課題への取り組みは自己解決だけでなく、グループ活動を用いて解決を目指すこともあります。また、単元テストを行い基礎学力の定着をはかります。 単元ごとにレポートの提出やプレゼン発表等のパフォーマンス課題を行います。その際はパソコンを使ったり図書室で調べ学習をしたりします。	
定期考査	出題方針	授業で学習したことを中心に、教科書の内容に準じて観点別に問題を出題します。「知識・技能」では、覚えた知識を問うだけではなく、知識を十分に活用して資料を読み取る力もはかります。「思考・判断・表現」では、知識をどのように実生活や実社会に活かすかを問う問題も出題していきま
	1学期中間	日本の地域的特色、身近な地域の調査、中世の日本
	1学期期末	九州地方、中国・四国地方、近畿地方
	2学期中間	中部地方、関東地方
	2学期期末	東北地方、北海道地方、日本の諸地域のまとめ ヨーロッパ人との出会いと全国統一
学年末	江戸幕府の成立と対外政策、産業の発展と幕府政治の動き 欧米における近代化の進展、	
学習方法	授業に集中し、意欲的に課題に取り組もう。ワークは繰り返し何度も行い学力の定着を図ろう。	

	観 点	評 価 規 準	評価方法
評価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の国土の位置、や領域を理解し、時差の概念を理解し求めることができる。</li> <li>幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している</li> <li>ヨーロッパ人来航の背景とその影響や、その当時の対外関係などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解することができる</li> <li>江戸幕府の成立と対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。</li> <li>社会の変動や欧米諸国の接近政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>単元テスト</li> <li>行動観察</li> </ul>
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の諸地域において、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる</li> <li>交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>近世・近代の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>行動観察</li> <li>パフォーマンス課題</li> </ul>
	③主体的に学ぶに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間めあてに対して自分なりの考えや感想を持ち、授業の内容を身につけようとしている</li> <li>各単元の内容について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>各単元の内容を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシートの内容</li> <li>行動観察</li> <li>提出物の記述内容</li> </ul>

年間授業計画書					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	日本の様々な地域	オリエンテーション 日本の地域的特色	1 6	日本の地形や気候を地形図や雨温図などから適切に読み取り、世界と比較しながら我が国の地域的な特色を捉える。
	5	日本の様々な地域 日本の諸地域	身近な地域の調査 九州地方 中間テスト等	2 5 3	方位や宿舎などを理解し、地形図を読み取ることができる。 九州地方の地域的特色について理解し特に自然環境との関連に着目して主体的に課題を追究しようとする。
	6	日本の諸地域	中国・四国地方 近畿地方 期末テスト等	5 5 3	中国・四国地方の地域的特色について理解し、特に交通や通信網との関連に着目して主体的に課題を追究しようとする。 近畿地方の地域的特色について理解し特に環境保全との関連に着目して主体的に課題を追究しようとする。
	7	日本の諸地域	近畿地方 中部地方	5 5	近畿地方の地域的特色について理解し特に環境保全との関連に着目して主体的に課題を追究しようとする。 中部地方の地域的特色について理解し、特に諸産業との関連に着目して主体的に課題を追究しようとする。
	9	日本の諸地域	宿題テスト 関東地方 中間テスト等	1 6 3	関東地方の地域的特色について理解し、特に人口・都市・村落との関連に着目して主体的に課題を追究しようとする。
	10	日本の諸地域	東北地方 北海道地方 日本の地域的特色	3 3 2	東北地方の地域的特色について理解し特に伝統産業との関連に着目して主体的に課題を追究しようとする。 北海道の自然環境と生活、産業との関係について理解し、北海道地方の特色を主体的に追究しようとする。 日本の各地方の地域的特色を踏まえた上で、各地方で発達している産業について整理する。
	11	日本の諸地域 近世の日本	日本の諸地域まとめ ヨーロッパ人との出会いと全国統一 期末テスト等	3 6 3	各地方で学習した項目を用いて一つの都道府県を捉え、地理的な学びのある旅行計画を提案する。 ヨーロッパ人來航の背景とその影響について理解する。ヨーロッパ人との出会いと全国統一に見られる課題を主体的に追究しようとしている
2	12	近世の日本	江戸幕府の成立と対外政策 産業の発達と幕府政治の動き	5 5	江戸幕府の成立と大名統制や農村の様子、対外などから幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 社会の変動や欧米諸国の接近や、政治改革などから幕府政治が行き詰まりを見せたことを理解する。
	1	開国と近代日本の歩み	宿題テスト 欧米における近代化の進展 欧米の進出と日本の開国	1 5 2	欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。
	2	開国と近代日本の歩み	欧米の進出と日本の開国 明治維新 学年末テスト等	2 5 3	欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。 開国とその影響から、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。
	3	開国と近代日本の歩み	明治維新 まとめ	6 1	開国とその影響から、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。

教科名	数 学	週時間数	3	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	・「中学数学2」(啓林館)・「数間チェックノート2」(新学社) ・「数学の問題ノート」(新学社)・「数学ノート」(明治図書)				
指 導 の 重 点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」				
学習のねらい	数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学と実社会との関連について理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。				
授業の進め方	授業は、基礎学力が確実に定着するように教科書の内容を中心にすすめていきます。また、機械的な計算方法を反復練習し、例題を通して問題の解決策を見出させるようにしていきます。				
定 期 考 査	出題方針	教科書の内容に準じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」における基礎学力を問う問題を出題し、数学的に考える資質・能力の習熟度を計ります。			
	範囲	1学期中間	1年生の復習、式の計算、連立方程式		
		1学期期末	連立方程式、1次関数		
		2学期中間	1次関数、図形の調べ方		
		2学期期末	図形の調べ方、図形の性質と証明		
学年末	2学期末までの復習、図形の性質と証明、場合の数と確率、箱ひげ図とデータの活用				
学 習 方 法	授業に集中し、関心を持って意欲的に問題に取り組み、例題を参考にして自分の力で解いてみましょう。また、間違えた問題については、理解できるまで何度も解いてみるのが大切です。				

観 点	評 価 規 準		評 価 方 法
	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な多項式の加法、減法、乗法、除法を計算できる。</li> <li>・いろいろな連立方程式を解くことができる。</li> <li>・1次関数の基本を理解し、式、グラフの形で表すことができる。</li> <li>・仮定と結論を明確にして、証明を進める方法について理解できる。</li> <li>・各々の図形についての性質を理解できる。</li> <li>・問題を解決するために、起こりうるすべての場合を求めたり、確率を求めたりすることができる。</li> <li>・箱ひげ図や四分位範囲などを活用して、問題を解決する方法について理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動観察</li> </ul>
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年で学習した内容と関連付けて考察し、多項式の計算方法を表現できる。</li> <li>・連立方程式を具体的な場面で活用することができる。</li> <li>・具体的な事象の中から取り出した2つの数量の関係を理想化したり単純化したりして1次関数とみなし、変化や対応の様子を調べたり、予想したりすることができる。</li> <li>・図形の性質を証明するために、見通しを立てて証明を書くことができる。</li> <li>・三角形の合同条件、定義、定理をもとに図形の性質を証明できる。</li> <li>・確率を用いて不確かな事象を捉え考察し表現することができる。</li> <li>・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の特徴や傾向を比較して読み取り、見出した結論や過程を批判的に考察して判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・単元テスト</li> <li>・行動観察</li> </ul>	
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の内容の必要性や意味について考えようとしている。</li> <li>・各単元の内容について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</li> <li>・各単元の内容を活用した問題解決の過程を振り返って評価、改善しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの記述内容</li> <li>・ワーク等の提出内容</li> <li>・振り返りシートの内容</li> <li>・行動観察</li> </ul>	

年 間 授 業 計 画 書					
学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
4	4	1. 式の計算	・式の加法、減法	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式、多項式、定数項の意味や、単項式、多項式の次数と1次式、2次式の意味を理解する。</li> <li>・同類項の意味を理解し、同類項をまとめることができる。</li> <li>・多項式の加法、減法の計算ができる。</li> </ul>
			・いろいろな多項式の計算	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多項式と数の乗法、除法の計算ができる。</li> <li>・式を簡単にしてから式の値を求めることができる。</li> </ul>
	5	・単項式の乗法、除法	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式の乗法、除法の計算ができる。</li> <li>・乗除の混ざった単項式の計算ができる。</li> </ul>	
	5	・文字式の利用	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの場合から数の性質を予想し、式の計算を利用して、その予想が成り立つ理由を説明することができる。</li> <li>・条件をかえて予想を立て、その予想が正しいかどうかを文字式を利用して説明することができる。</li> <li>・目的に応じて簡単な等式を変形することができる。</li> </ul>	
			・章末問題	2	

1	5	2. 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>連立方程式とその解</li> <li>連立方程式の解き方</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2元1次方程式とその解の意味を理解する。</li> <li>連立2元1次方程式とその解の意味を理解する。</li> </ul>	
	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>連立方程式の活用</li> <li>章末問題</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を消去する方法を理解できる。</li> <li>代入法、加減法による連立方程式の解き方を理解できる。</li> <li>係数が整数でない場合などの連立方程式を工夫して解ける。</li> <li>いろいろな連立方程式の解き方を理解できる。</li> </ul>	
2	6	3. 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数</li> <li>1次関数の値の変化</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数の意味を理解できる。</li> <li>事象の中で1次関数としてとらえることができるものの判断ができる。</li> </ul>	
	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数のグラフ</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数の値の変化を考察し、変化の割合について理解できる。</li> <li>1次関数以外の関数の変化の割合について理解できる。</li> </ul>	
	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数の式を求めること</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数のグラフの意味を理解できる。</li> <li>比例のグラフと1次関数のグラフとの関係と切片の意味を理解できる。</li> <li>傾きと変化の割合との関係を理解できる。</li> <li>1次関数のグラフを、傾きと切片をもとにして書くことができる。</li> <li>変域に制限がある場合について考えることができる。</li> <li>1次関数のグラフから、傾きと切片を読み取り、式を求めることができる。</li> <li>傾きとグラフ上の1点の座標から式を求めることができる。</li> <li>グラフ上の2点の座標から式を求めることができる。</li> <li>1次関数の表、式、グラフの相互の関連をまとめることができる。</li> <li>2元1次方程式のグラフを理解し、そのグラフをかくことができる。</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>方程式とグラフ</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2元1次方程式のグラフを、2点を求めてかくことができる。</li> <li>座標軸に平行な方程式のグラフを書くことができる。</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>連立方程式とグラフ</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>連立方程式の解とそのグラフの交点の座標の関係について理解できる。</li> <li>2直線の交点の座標を連立方程式を用いて求めることができる。</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数の活用</li> <li>章末問題</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりの場面から問題を想定し、1次関数を利用して問題を解決することができる。</li> <li>1次関数のグラフから数量の関係を読み取ることができる。</li> <li>動点のようすを1次関数でとらえることができる。</li> </ul>	
					4	
					2	
					3	
					4	
			3			
			2			
			2			
			2			
3	11	5. 図形の性質と証明	<ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>対頂角の性質を理解できる。</li> <li>平行線と角の関係（同位角・錯角）について理解できる。</li> </ul>	
	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>直角三角形の合同</li> <li>平行四辺形の性質</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>多角形の角の関係や性質を知り、角の大きさを求めることができる。</li> </ul>	
	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形になるための条件</li> <li>いろいろな四角形</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同な図形の性質と合同条件を理解できる。</li> <li>証明の必要性を感じ、仮定と結論の意味を理解できる。</li> <li>証明の意味とそのしくみを理解できる。</li> <li>証明の根拠となることがらになにか理解できる。</li> </ul>	
	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>平行線と面積</li> <li>四角形の性質の利用</li> <li>章末問題</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形の合同条件を使って簡単な図形の性質を証明することができる。</li> </ul>	
	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形の合同条件について理解し、図形の性質を証明することができる。</li> <li>平行四辺形の性質を理解し、平行四辺形の性質の証明ができる。</li> <li>平行四辺形になるための条件を理解し、その証明ができる。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>直角三角形の合同条件について理解し、図形の性質を証明することができる。</li> <li>平行四辺形の性質を理解し、平行四辺形の性質の証明ができる。</li> <li>平行四辺形になるための条件を理解し、その証明ができる。</li> </ul>	
	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>長方形、ひし形、正方形の定義を理解し、平行四辺形との関係を理解できる。</li> <li>底辺が共通な三角形の性質を理解し、平行線を使った等積変形ができる。</li> <li>平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件を用いた証明ができる。</li> <li>平行線を使った等積変形ができる。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>長方形、ひし形、正方形の定義を理解し、平行四辺形との関係を理解できる。</li> <li>底辺が共通な三角形の性質を理解し、平行線を使った等積変形ができる。</li> <li>平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件を用いた証明ができる。</li> <li>平行線を使った等積変形ができる。</li> </ul>	
	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>章末問題</li> </ul>	1		
	1	6. 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>確率の求め方</li> <li>いろいろな確率</li> <li>確率の利用</li> <li>章末問題</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>同様に確からしいときの確率を求めることができる。</li> <li>確率のとりうる値の範囲について理解できる。</li> </ul>	
	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>確率の利用</li> <li>章末問題</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹形図や表などを用いて事象のめれや重なりがないように整理することができる。</li> <li>確率を余事象の考えによって求めることができる。</li> <li>くじを引く場面で、先に引くか、後に引くかによるあたりやすさの違いを理解できる。</li> </ul>	
	3	7. 箱ひげ図とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱ひげ図</li> <li>データを活用して問題を解決しよう</li> <li>章末問題</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>四分位範囲と箱ひげ図の意味を理解し、四分位数や四分位範囲を求めたり、箱ひげ図に表すことができる。</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>箱ひげ図を読み取ることができる。</li> </ul>	2		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>章末問題</li> </ul>	1		
		1年間の復習		10		

教科名	理科	週時間数	4	学年	2
使用教科書 及び副教材等	教科書「サイエンス2」2年生(啓林館) 資料集「グラフィック 最新理科資料集」(明治図書) 理科の完全学習(正進社) プリント CRE観点別ミニテスト(明治図書)				

指導の重点	問題解決能力, 思考力	
教科のねらい	<p>&lt;第1分野&gt;自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。</p> <p>&lt;第2分野&gt;生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な能力を育成する。</p>	
授業の進め方	授業は、教師の自作プリントを使用し、さらに資料集で詳しい図表を示したり、プリントで問題練習等を行ったりする。プロジェクターなどの視聴覚機器も有効に活用する。実験・観察は班別で行い、全員が関わられるよう工夫する。	
定期考査	<p>授業中に行った内容を中心に、観点別の問題を出題する。「知識・技能」に関しては、自然の事物・現象についての基本的概念や原理・法則の理解についての問題や、授業で行った実験を中心に、目的や安全に行う注意点、結果についての問題を出題する。「思考・判断・表現」に関しては、モデル図などを使って基本的概念や原理・法則を説明するような科学的な見方や考え方についての問題を出題する。</p>	
範囲 (予定)	1学期中間	活きている地球、化学変化と原子・分子
	1学期期末	化学変化と原子・分子、生物の体のつくりとはたらき
	2学期中間	生物の体のつくりとはたらき
	2学期期末	電流とその利用
	学年末	電流とその利用、地球の大気と天気の変化
学習方法 (アドバイス等)	授業をしっかりと聞くこと。復習はプリントを中心に、モデル図や表・グラフ実験の図や方法・結果・安全に関する注意点などを確認し、押さえておくこと。	

	観点	評価規準	評価方法
評価	① 知識・技能	物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・テスト</li> <li>・プリントの内容</li> <li>・行動観察(発言・発表)</li> </ul>
	② 思考・判断・表現	物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見だし、表現するなど、科学的に探究している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・テスト</li> <li>・プリントの内容</li> <li>・行動観察(発言・発表)</li> </ul>
	③ 主体的に学びに向かう態度	物質やエネルギー、生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの内容</li> <li>・ワーク等の提出内容</li> <li>・振り返りシートの内容</li> <li>・行動観察(発言・発表)</li> <li>・テスト</li> <li>・調べ学習</li> </ul>

年間授業計画書					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	活きている地球	語る大地	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地層の成り方、地層の岩石</li> <li>・地層、化石と大地の歴史</li> <li>・大地の恵みと災害</li> </ul>
	5		化学変化と原子・分子	物質のなりたちと化学変化	14
	6	いろいろな化学変化		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の化合、化学反応式</li> <li>・物質の酸化、酸化物の還元</li> <li>・化学変化と熱</li> </ul>
		化学変化と物質の質量		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質量保存の法則</li> </ul>
	7	生物の体のつくりとはたらき	生物のからだと細胞	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞観察</li> <li>・からだのおおまかなつくり</li> </ul>
			生命を維持するしくみ	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養分の消化と吸収</li> <li>・呼吸のはたらき</li> <li>・血液の循環</li> <li>・不要物の排出</li> </ul>
	2	9	電流とそ の利用	行動するしくみ	9
10		いろいろな動物とその進化		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せきつい動物</li> <li>・無せきつい動物</li> </ul>
11		電流と電圧		19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電流、電圧の性質</li> <li>・電気抵抗、合成抵抗</li> <li>・電力</li> </ul>
		静電気と電流		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静電気の性質</li> <li>・電流の正体</li> <li>・放射線の性質と利用</li> </ul>
12	電流と磁界	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磁石と磁界、電流と磁界</li> <li>・電磁誘導、発電の仕組み</li> <li>・直流と交流</li> </ul>		
3	1	地球の大気と天気の変化	大気をめぐる水	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水蒸気と湿度、雲の成り方</li> <li>・水の循環</li> </ul>
	2		天気の変化	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象観測、高気圧と低気圧</li> <li>・気圧配置と風の吹き方</li> <li>・天気図記号、前線</li> <li>・大気の動き</li> </ul>
	3		日本の天気	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の四季</li> <li>・自然の恵みと気象災害</li> </ul>



教科名	音楽	週時間数	1	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	教科書 中学生の音楽2-3 上・下 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) 副教材 MY SONG (教育芸術社) 音楽のハーモニー (正進社)				

指導の重点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的の学びに向かう態度」				
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。</li> <li>多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。</li> <li>多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。</li> </ul>				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の始めに発声練習を行う。</li> <li>授業は一斉授業の形で進める。</li> <li>合唱は、必要に応じてペアやグループ、パートごとに練習する。</li> <li>授業の終わりに自己評価プリント等で反省とまとめ、次回への課題を探す。</li> </ul>				
定期考査	出題方針	授業の内容を中心に出題する。			
		1学期中間	実施しない		
		1学期期末	1学期のまとめ		
		2学期中間	実施しない		
		2学期期末	2学期のまとめ		
		3学期期末	1年間のまとめ		
学習方法 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の約束を守る(遅刻しない・忘れ物をしない・集中して課題に取り組む)</li> <li>実技テストでは、自分の力を充分に出しましょう。</li> <li>活動に積極的に参加し、目的意識を持って取り組むこと。</li> </ul>				

	観点	評価規準	評価方法
評価	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>創意工夫を生かした歌唱等の音楽表現をするために必要な技能を身に着けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>実技テスト</li> </ul>
	② 思考・判断・表現	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞のプリント</li> <li>行動観察</li> <li>実技テスト</li> </ul>
	③ 主体的に学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻・忘れ物・提出物・発表</li> <li>行動観察</li> <li>振り返りプリント</li> </ul>

年間授業計画書					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4		オリエンテーション	1	
	5	歌唱・指揮	「翼をください」	4	・それぞれの部分の各声部の役割を理解し、全体の響きを感じ取りながら、表現を工夫する。
	6	鑑賞	鑑賞曲「フーガト短調」	3	・フーガの音の重なり方やパイプオルガンの音色の特徴を感じ取って聴く。
	7	合唱	合唱コンクールに向けて課題曲の練習	2	・自由曲・指揮者・伴奏者の決定。
2	9	合唱	合唱コンクール練習 各クラスの合唱曲 「夏の日の贈りもの」他	8	・パートリーダー中心に互いに協力し合って自主的な活動をする。 ・互いの演奏を聴き合い評価し合う中で、一つの音楽をつくることの楽しさやすばらしさを感じ取る。
	10	歌唱	「夏の思い出」	2	・言葉の抑揚と旋律との関係を理解して、歌詞の表す情景や心情と曲想を感じ取って歌う。
		歌唱	「荒城の月」	2	・曲のもつ情緒を味わい、言葉の抑揚と旋律線のもつ方向性について理解する。
	11	鑑賞	「交響曲第5番ハ短調」	3	・オーケストラの響きを味わい、様々な管弦楽器について理解する。 ・動機の発展や曲のしくみ(ソナタ形式)を理解して聴く。
	12	鑑賞	「拍子とリズム」  オペラ「アイダ」	2  3	・音符、休符、記号の名前をおぼえながら音楽を形づくっている要素を知覚する。  ・物語の進行や内容に応じて変化する表現を感じ取る。 ・音楽・演劇・美術・文学が関わってつくられている総合芸術オペラについて、理解を深める。
3	1	鑑賞	歌舞伎「勸進帳」	2	・日本の伝統的な総合芸術に親しみ、その良さを味わう。
	2	歌唱	サンタルチア	2	・原語の歌詞や曲想からカンツォーネのもつ情緒を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。
	3	鑑賞	「サウンドオブミュージック」	3	・華やかな歌と芝居、ダンスが関わって作られているミュージカルの鑑賞をする。

教科名	美術	週時間数	1	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	教科書「美術2.3」 光村図書 レタリング字典 秀学社 美術資料 秀学社				

指導の重点	「知識技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」				
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。</li> <li>・対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し想像する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。</li> <li>・自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高めよさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。</li> </ul>				
学習の進め方	授業は、作品の制作だけでなく、美術資料などで知識や技能を幅広く身に付けられるようにする。また、自己評価シート等を使って授業への取り組みを振り返り、次の制作に活かせるようにする。鑑賞では、教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、ワークシートを使って自分の感想・意見を述べられるようにしていく。				
定期考査	出題方針	実技テスト中心。授業中に学習した内容を出題する。			
	範囲 (予定)	1学期中間	実施しない		
		1学期期末	実技課題。授業での知識問題		
		2学期中間	実施しない		
		2学期期末	実技課題。授業での知識問題		
学年末	美術的総合力に関わる実技課題。知識問題				
学習方法 (アトバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に意欲的、積極的に取り組む。</li> <li>・チャイム着席、作業の準備、後かたづけがしっかりできるようにする。</li> <li>・提出物は期日を守って必ず提出する。</li> <li>・私語は慎み、根気よく制作に集中する。</li> <li>・各自の制作に必要な資料や材料を準備し、制作に生かすことができるようにする。</li> </ul>				

	観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
評   価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術や文化についての知識、基礎的な技法について理解することができているか。</li> <li>・自然や身近なものを深く観察し、形や色彩の特徴や美しさをとらえて表現することができているか</li> <li>・表現の基礎的技法を理解し、制作することができているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品、ワークシートなど</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 定期テスト</li> </ul>
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な角度から発想し、構想を練ることができているか</li> <li>・制作過程において、修正、検討しながら、自分らしい表現を心がけることができているか</li> <li>・自分の表現意図にあった材料・用具を生かして創意工夫し、制作することができているか。</li> <li>・作品の良さや美しさを感じ、味わうことができているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品、ワークシートなど</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 定期テスト</li> </ul>
	③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に関心を持ち、意欲的、積極的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができているか。</li> <li>・制作するための資料を探し用意するなど主体的に取り組めるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品の内容</li> <li>・ 授業中の発言</li> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 自己評価</li> <li>・ 定期テスト</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品の意図を発表したり、他の生徒作品や発表に関心を持つことができているか。</li> <li>・ 資料や材料・用具の準備、後片付けができているか</li> <li>・ 作品やワークシート等、提出期限を守って提出することができているか</li> </ul>	

年 間 授 業 計 画 書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4	レタリング	・昨年度の内容の確認	1	・レタリングの基本を再度確認する
	5	デザイン	・四字熟語の文字絵	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四字熟語の意味をよく考えて豊かな発想をもって作品に取り組む</li> <li>・文字の美しさ、アイデア、色塗りなど昨年学んだことを生かしてより良い作品制作を行う</li> </ul>
	6		⋮		
	7				
2	8	鑑賞	・ゴッホ		
9	絵画		・模写	8	・前回学んだゴッホのひまわりの作品をモチーフにして粘土で作品を作り上げていく
10					
11	デザイン		・お弁当作り	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土を使い分けて本物そっくりなお弁当を作り、全校生徒に購入をしてもらおう</li> <li>・クラス対抗で売り上げを競いあおう</li> </ul>
12					
3	1	デザイン	・立体感のある平面構成	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面において立体感を出すための技法を正しく学び、3年生に向けて立体感のある構成を考えていく</li> </ul>
	2				
	3				

※ 授業の制作進度などによっては、内容が変更になることもあります。

教科名	保健体育	週時間数	3	学年	第2学年
使用教科書 及び 副教材等	教科書 「新 中学校保健体育」学研 副教材 「図解中学体育」あかつき 「学習の達成」新学社				
指導の重点	「学ぶ意欲」				
教科のねらい	保健体育科では「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。」という目標を達成するために、まず、「学ぶ意欲」を高めていきます。そのことで自ら進んで活動したり、個人（グループ）の課題（目標）を持って授業に取り組めるようになると考えます。そして、課題の解決を目指して考え・工夫する資質や能力、健康・体力の向上も期待できるものと考えます。				
授業の進め方	まず、授業を進めるにあたって必要なこと（準備・片付け、初歩的なルールなど）を覚える。そして、基本的なこと（動作や技術、戦術など）を練習する。さらに、先生や友だちのアドバイスを参考にしながら、自分(たち)の課題(目標)を解決していくために、自ら進んで取り組み、考え・工夫したりしながら協力して練習や試合、記録計測をしていく。				
定期考査	出題方針	授業中に説明したことや教科書、副教材から出題します。			
	範囲 (予定)	1学期中間	実施しません。		
		1学期期末	1学期の範囲		
		2学期中間	実施しません		
		2学期期末	2学期の範囲		
学年末	3学期の内容を中心に全範囲				
学習方法 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組む。</li> <li>○日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしない。</li> <li>○指示をよく聞いて仲間と協力して活動（準備、片づけ、練習など）し、まわりの安全を考えて取り組む。</li> <li>○効果的で安全な活動をするため、基礎的な事柄（服装や身なりを整えたり、運動種目の規則を守るなど）に注意し取り組む。</li> <li>・体操服：4月～11月頃は半袖、ハーフパンツを必ず着用する。11月頃～3月は長袖、長ズボン（ハーフパンツ可）、授業内容により活動時以外でのウインドブレーカー着用も認める。 ※体調不良等、特別な理由がある場合は連絡する。</li> <li>・安全のため、前髪は目にかからない長さに切る。女子は肩まで伸びていればゴムで束ねる。靴下は、足首が隠れる長さの物を用意する。爪も短く切りそろえておく。</li> </ul>				
評価	観点	評価規準			評価方法
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の特性、競技やルール、審判の方法を理解している。</li> <li>・安全や健康に対する基礎的な事柄が理解できている。（服装や身なり、場の設定、事故やケガの予防法）</li> <li>・自己やグループの能力に応じた、技能・体力の高め方を理解できている。（課題の選び方、練習の仕方）</li> <li>・自己の技能を精一杯発揮している。</li> <li>・授業に取り組む中で運動の特性に応じた技能の向上が見られる。</li> <li>・個人的技能や集団的スキルを記録会や試合などで発揮することができる。</li> <li>・正しく正確に準備・整理体操を行ったり、ルール通りに審判や試合を行ったりすることができる。</li> <li>・準備体操・整理体操など効果を意識して真面目に行っている。</li> </ul>			授業観察 技能テスト 筆記テスト 学習カード など
	思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した運動を考え、工夫している。</li> <li>・自己やグループの課題解決を目指し、練習方法やルール、作戦などを考え、工夫している。</li> <li>・指示をよく聞き準備・片付けを素早く正確に行い、活動場所や器具の安全を確認するなど事故やケガの予防を考え活動している。</li> </ul>			授業観察 学習カード など
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで運動し、仲間と協力しながら最後まで粘り強く取り組んでいる。</li> <li>・集合や整列など素早く行い、指示を集中して聞くなど、規律をもって授業に取り組んでいる。</li> <li>・日頃から健康管理に努めるなど、欠席・見学・遅刻・忘れ物をせず、授業に参加している。</li> <li>・勝敗や審判の判定、記録の結果などを公正な態度で受け入れている。</li> <li>・準備体操・整理体操など効果を意識して真面目に行っている。</li> </ul>			授業観察 学習カード など 出欠、見学、忘れ物の回数、遅刻回数	

年間授業計画書					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1 学期	4	体づくり運動	・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト	9	・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題をもって次の運動を行い、体ほぐしをしたり、体力を高めたりすることができる。
		体育理論	・運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	3	・スポーツの特性に応じた学び方や、安全の確保の仕方を理解する。
	5	陸上競技	・ハードル走	6	・自己の能力に適した課題をもって競技を行い、その技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができる。(陸上競技)
		器械運動	・マット運動連続技 ・跳び箱	9	・自己の能力に適した課題をもって競技を行い、その技能を高め、技がより良くなる。(器械運動)
	7	球技	・ネット型	9	・チームの課題や自己の能力に適した課題をもって球技を行い、その技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開ができる。
2 学期	9	体づくり運動	・ラジオ体操 ・集団行動	3	・自己の体に関心を持ち、自己の体力や生活に応じた課題をもって次の運動を行い、体ほぐしをしたり、体力を高めたりすることができる。
		ダンス	・現代的なリズムのダンス	8	・グループの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫することができる。(ダンス)
	10	健康な生活と病気の予防	・生活習慣病とその予防	3	・生活習慣病を引き起こす要因と予防の仕方について理解する。生活習慣病の予防の観点から、自分の生活を振り返る。
		陸上競技	・走り高跳び	6	・自己の能力に適した課題をもって競技を行い、その技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができる。(陸上競技)
	11	健康な生活と病気の予防	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	3	・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること、また、そのような行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それらに適切に対処する必要があることを理解する。
		球技	・ベース型	7	・チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができる。
	12	健康な生活と病気の予防	・喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ	3	・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、そのような行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それらに適切に対処する必要があることを理解する。
		傷害の防止	・傷害の原因と防止 ・交通事故の現状と原因 ・交通事故の防止 ・自然災害に備えて	4	・傷害の多くは安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解する。 ・災害時には状況を正しく判断し、冷静・迅速・安全に行動し災害情報を把握することを理解する。 ・日頃から災害に備えておく必要があることを理解する。
武道		・剣道	8	・伝統的な行動の仕方を守ることなどに意欲を持ち、健康や安全に気を配り、礼法などの考え方を理解する。(武道)	
3 学期	1	傷害の防止	・応急手当の意義と手順 ・意識がない場合の手当て ・きずの手当て	3	・応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解する。 ・応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解する。
		陸上競技	・長距離走	9	・自己の能力に適した課題をもって競技を行い、その技能を高め、記録を高めたりすることができる。
	3	球技	ゴール型	12	・チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができる。

教科名	技術	週時間数	1	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	・新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）				

指導の重点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学びに向かう態度」				
学習のねらい	生物育成・エネルギー変換についての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して課題を見だし、課題の解決方法を考え、実行するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、ものづくりのよさを知り、技術と生活や社会との関連について理解を深め、技術を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、課題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、考える資質・能力を育成することを目指す。				
授業の進め方	授業は、基本的な知識・技能が実践の中で生かせるように、課題に取り組む中で活用する。また、製作品の設計・製作では課題解決のための構想をもとに計画を立て、取り組んでいく。取り組みについて評価・改善・修正をする。				
定期考査	出題方針	授業や作業内容を中心に、「知識・技能」「思考・判断・表現」における基礎学力を問う問題を出題し、技術的な考え方や資質・能力の習熟度を計ります。			
		1学期期末	生物育成・コンピュータの基本		
		2学期期末	生物育成・エネルギー変換		
		学年末	エネルギー変換・コンピュータの操作方法		
学習方法	日常の中から課題を見だし、関心を持って意欲的に課題の解決方法を構想し、情報を共有しながら課題解決に取り組む。取り組みの中で必要があれば構想を修正し、課題解決後には評価・改善・修正してよりよい方法を考える。				

	観 点	評 価 規 準	評価方法
評価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物育成についての技術についての科学的な原理・原則や基礎的な技術の仕組みが理解できる。</li> <li>安全、適切な栽培または飼育、検査等ができる。</li> <li>生活や社会、環境と生物育成の技術の関わりを理解している。</li> <li>電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる技術の仕組みが理解できる。</li> <li>保守点検の必要性について理解できる。</li> <li>安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる。</li> <li>生活や社会、環境とエネルギー変換との技術の関わりを理解している。</li> <li>コンピュータを適切に活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>振り返りテスト</li> <li>製図テスト</li> <li>タイピングテスト</li> <li>製作品</li> <li>行動観察</li> </ul>
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会の中から生物育成に関わる問題を見いだして課題を設定することができる。</li> <li>育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てることができる。</li> <li>栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善、修正することができる。</li> <li>生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、改良と応用について考えることができる。</li> <li>生活や社会の中からエネルギー変換に関わる問題を見いだして課題を設定することができる。</li> <li>電気回路又は力学的な機構等を構想して設計をすることができる。</li> <li>製作の過程や結果の評価、改善、修正をすることができる。</li> <li>エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、改良と応用について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの内容</li> <li>レポートの内容</li> <li>設計の内容</li> <li>定期考査</li> <li>行動観察</li> </ul>
	③主体的に学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。</li> <li>自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。</li> <li>自らの知識・技能を身に付けられるように取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述内容</li> <li>ワーク等の提出内容</li> <li>振り返りシートの内容</li> <li>行動観察</li> </ul>

年 間 授 業 計 画 書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント	
1	4	生物育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物を育てる技術                             <ul style="list-style-type: none"> <li>〔植物を育てる技術</li> <li>〔動物を育てる技術</li> <li>〔水産生物を育てる技術</li> </ul> </li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会を支える生物育成の技術や、問題解決の工夫について調べることができる。</li> <li>・作物、動物、水産生物の成長、生態等について科学的な原理・原則を説明できる。</li> <li>・生物の育成環境を調節する方法等の仕組みを説明できる。</li> </ul>	
	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニトマトの栽培                             <ul style="list-style-type: none"> <li>〔栽培計画</li> <li>〔播種</li> <li>〔かん水</li> <li>〔追肥</li> <li>〔害虫駆除</li> <li>〔収穫</li> <li>〔評価</li> </ul> </li> <li>・栽培の基礎知識</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット等を活用して情報を収集できる。</li> <li>・収集した情報を基に課題解決の方法を構想できる。</li> <li>・構想を基に栽培計画を立てることができる。</li> <li>・適切に栽培管理・運用ができる。</li> <li>・状況に応じて管理方法を見直し、改善・修正できる。</li> <li>・作物の状態を観察し、育成に必要な課題を見いだすことができる。</li> <li>・課題を解決する方法を考え、具体化することができる。</li> <li>・栽培管理中又は収穫後に作物や管理方法について評価・改善・修正を考えることができる。</li> </ul>	
	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の発展と生物育成の技術</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい地域社会の構築を目指して、生物育成を評価し、適切な選択、管理・運用の在り方を考えることができる。</li> </ul>
	7		情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワーク</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの基本的な構成について理解できる。</li> <li>・情報機器を識別する工夫について理解できる。</li> </ul>
2	9	エネルギー変換	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯車を使った電気自動車の設計・製作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・動力を伝える技術</li> <li>・ギア比</li> <li>・ギアシステム組み立て、製作</li> <li>・基本的な電気自動車の構造を製作する。</li> <li>・速さを追求した電気自動車を製作する。</li> <li>・力を追求した電気自動車を製作する。</li> <li>・課題解決のための目標を立ててオリジナル電気自動車を設計・製作する。</li> <li>・電気自動車を評価・改善する。</li> </ul> </li> <li>電気に関する技術                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気に関する基礎知識</li> <li>・電気回路</li> <li>・発電、送電</li> <li>・保守点検・管理</li> <li>・電気の安全な使い方</li> </ul> </li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・力や運動を伝達する仕組みの特徴や共通部品について理解できる。</li> <li>・ギア比を求めることができる。</li> <li>・設計に基づき、安全を踏まえた製作品の組み立て・調整ができる。</li> <li>・機器の構造、各部のはたらきについて理解できる。</li> <li>・課題を解決するための構想を考えることができる。</li> <li>・使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的、経済的側面から設計することができる。</li> <li>・設計をもとに電気自動車を製作することができる。</li> <li>・製作した電気自動車を評価・検討し、修正・改善をすることができる。</li> </ul>	
	10					
	11					
	12					3
3	1		電気回路の設計	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子部品のはたらきが理解できる。</li> <li>・構想した回路を回路図で表すことができる。</li> </ul>	
	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>電気製品の製作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・はんだ付けの仕方</li> <li>・電気回路の検査、点検</li> <li>・製作品の組み立て</li> <li>・製作品の評価</li> </ul> </li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子部品を基板にはんだ付けすることができる。</li> <li>・基盤に流れる電気を検査、点検することができる。</li> <li>・製作品の評価、改善について考えることができる。</li> </ul>	
	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の発展とエネルギー一年間の技術</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい地域社会の構築を目指して、エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択、管理・運用の在り方を考えることができる。</li> </ul>	



教科名	家庭	週時間数	1	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい技術・家庭 家庭分野 (東京書籍)</li> <li>・技術・家庭ノート 家庭分野 (正進社)</li> </ul>				

指導の重点	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学びに向かう態度」	
学習のねらい	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。	
授業の進め方	基本的な知識・技能が生活の中で生かせるよう、各自生活における課題を話し合いながらまとめる。また、実習は可能な限り行い基礎的な技能の定着を図る。	
定期考査	出題方針	授業や実習を中心に、「知識・技能」「思考・判断・表現」における基礎的な内容を出題する。
	1学期期末	私たちの衣生活
	2学期期末	家族・地域とのかかわり、幼児の生活と家族、調理実習
	学年末	幼児の生活と家族、私たちの住生活、被服実習
学習方法	それぞれの単元について授業をよく聞き、教科書を中心に基本的な知識を確認する。	

	観 点	評 価 規 準	評価方法
評価	①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の働きについて説明することができる。</li> <li>・着ていない衣服の活用方法を考えることができる。</li> <li>・既製服の表示を読み取り、素材の特徴を説明し素材や汚れの性質に応じた手入れの方法をまとめることができる。</li> <li>・中学生としての自立を考え、家族とのためにできることを実践しまとめることができる。</li> <li>・肉の栄養的な特徴を調べ、適切な調理法で調理することができる。実習レポートに、実習を終えての課題と解決策を考察し、まとめ表現することができる。</li> <li>・不足しがちな栄養素を補い、簡単に作ることができるおやつを作り、手作りのおやつについてまとめることができる。</li> <li>・災害に備えた住まい方を考え、工夫し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・ワークシートの内容</li> <li>・実習レポートの内容</li> <li>・行動観察</li> </ul>
	②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた衣服と個性を表現した衣服を考えまとめ、表現することができる。</li> <li>・既製服の表示を読み取り、素材の特徴を説明し素材や汚れの性質に応じた手入れの方法をまとめ、実生活での課題とその解決方法を考察し表現することができる。</li> <li>・中学生としての自立を考え、家族とのためにできることを実践し、課題とその解決方法を考察することができる。</li> <li>・肉の栄養的な特徴を知り、適切な調理法で調理し実習を終えて課題と解決策を考察し、実生活に合う工夫を構想し、まとめ表現することができる。</li> <li>・不足しがちな栄養素を補い、簡単に作ることができるおやつを作り、課題と解決策を考察することができる。</li> <li>・自分の家の災害に備えた住まい方をまとめ、工夫し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの内容</li> <li>・実習レポートの内容</li> <li>・定期考査</li> <li>・行動観察</li> </ul>
	③主体的に学びに向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。</li> <li>・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。</li> <li>・自らの知識・技能を身に付けられるように取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業出席</li> <li>・課題等の提出状況</li> <li>・振り返りシートの内容</li> <li>・ワークシートの内容</li> <li>・行動観察</li> </ul>

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	私たちの衣生活	・衣服の働きを考えよう	2	・衣服の働きについて説明することができる。
			・目的に合わせて自分らしく着よう	2	・目的に応じて衣服を着用することの大切さに気付くことができる。
			・衣服を計画的に活用できるようになろう	1	・衣服計画を立てることができる。
	5 6		・必要な衣服を選択しよう	1	・着ていない衣服の活用方法を考えることができる。
			・衣服の手入れをしよう	3	・衣服の材料や状態に応じて、適切な手入れができる。
			・よりよい衣生活を目指して	1	・環境や資源に配慮した衣生活を送るための課題を見つけ、よりよい衣生活を送るための解決策をまとめることができる。
7		・家庭や家族の基本的な機能について考えよう	2	・家庭や家族の基本的な機能について知り、家庭や家族の大切さに気付くことができる。	
2	9	家族・家庭と地域	・中学生としての自立を考えよう	2	・自分と家族との生活を振り返って、自分の役割について考え、中学生としての自立について理解できる。
			・家庭生活と地域との関わりを考えよう	1	・家庭生活と地域との関わりについて理解できる。
	10	調理実習	・肉を使った調理(ハンバーグ)	3	・調理計画を立てることができる。 ・調理室の使い方が分かる。 ・安全と衛生に注意し調理することができる。 ・肉の栄養的特徴を知り、適切な調理法で調理することができる。 ・実習レポートに、実習を終えて課題と解決策を考察し、表現することができる。
			・幼いころを振り返ろう	1	・自分の幼いころを振り返り、周囲の人とのかかわりに気付く。
	11	幼児の生活と家族	・幼児の体の発達について考えよう	1	・幼児の体の発達について理解できる。
			・幼児の心の発達について考えよう	1	・幼児の心の発達について理解できる。
			・幼児の生活習慣の習得について考えよう	2	・幼児の基本的な生活習慣・社会的な生活習慣について理解できる。
			・幼児の生活と遊びを知ろう	2	・幼児にとって遊びの意義について理解できる。 ・幼児の心身の発達に応じたおもちゃや遊び方について考え、工夫することができる。
	12	調理実習	・幼児のおやつを作ろう	3	・幼児にとっておやつの必要性が分かる。 ・市販のおやつと、手作りのおやつの特徴をまとめることができる。 ・不足しがちな栄養素を補え、簡単に作ることもできるおやつを作る。
			これからの私と家族	1	・中学生にとっての家族について考えよう
3	1	住生活と自立	・住まいの役割と住まい方が分かる	2	・住まいの役割と家族との関わりについて理解し、生活行為と必要な住空間について考えることができる。
	2		・日本の住まいと住まい方が分かる	1	・日本の住まいと住まい方の特徴をまとめることができる。
			・住まいの安全について考えよう	1	・住まいの中の危険な場所について、事故防止の対策を考えることができる。
			3	・災害に備えた住まい方について考えよう	2